

令和6年度特色ある区づくり予算事業（区役所企画事業）  
自治協議会委員からの提案一覧

報告資料1

	提案者	地域課題	提案・アイデア
1	清水(文)委員	少子高齢化がますます進行する中、区の強みである「自然環境の魅力」をより効果的に発信して交流人口拡大を図ることが、現実的と考える。 それには、大学生や若者（中高生も）の発想を取り入れるなど、大胆で、スピード感をもって取り組むことを期待する。	観光資源に直結する「海辺の森 賑わい創出」に資する事業・活動  例) 効果的な案内看板の拡充、様々な広報宣伝活動の強化、アクセス道路整備等々
2	福祉教育部会	新潟市は脳血管疾患による死亡率が高い。北区は他の区に比べて特に脳内出血の死亡率が高い。 予防には生活習慣の改善と定期的な健診が重要だが健診の受診率は低い。	地域の茶の間を活用した健康講話・相談会(大学生も一緒に) ※講話・相談会の内容 目で見える形の体験をしてもらう（血管年齢測定） 1日の各家庭の味噌の量を計り、それが脳梗塞につながる確率を数値で示す。高齢になる前に若い世代へ働きかけ。
3	佐久間委員	若年妊娠・性被害・性加害・高齢出産・不妊症など性に関する問題が年齢を問わず増加している。 思春期の頃(早い時期)から正しい知識を身に着けることで回避できる問題もある。性教育を人権教育と捉え、自分自身を守るため、また他者を大切にする気持ちを高めるための取り組みが必要と考える	<思春期の心と体の健康教育> 中学・高校で助産師などの専門職による性教育や、命の安全教育を行い、相手を思いやる気持ちを育んだり、生命の大切さや自他を大切にすることを高めていく。 <双子支援事業> 双子の妊婦・散布の交流の場を設け、ピアサポートの充実を図る。

	提案者	地域課題	提案・アイデア
4	菊地委員	北区になってから 20 年近くになるが、未だに旧新潟市の北地区と豊栄地区の一体感がなく、交流も一部しかない。これからの北区の発展を考えると活発な活動を通しての交流が必要。	文化芸能を通しての交流。松浜地区には松浜盆踊り太鼓保存会や松浜太鼓があり、岡方地区も神楽が盛ん。 地域で活動している芸能に上限 20 万円の予算を計上し、北区芸能祭を開催し交流を図る。
5	菊地委員	松浜海岸自然環境保全と水辺環境魅力発信事業は期間が長期化して区づくり予算が限定され他の案が提案できない状況。国県の直轄事業にできないか。 北区は他区より人口減少が顕著。対策を講じないと少子高齢化が進み、空き家問題が増加。	松浜は新潟都心部から 10 km 圏であるため通勤圏として北 3 地区を、新崎駅をハブ駅として新潟・豊栄につなぐ公共交通手段を整備する。 コミュニティと行政が協働で空き家のシェアハウスを検討。学生に無償または安価で賃借する。その代わりに若者の発想や専門的な知見を活かしまちの活性化につながる提案や活動を支援する。
6	菊地委員	就職先が少なく若い人材が地域から離れていく。 学生向けの衣料品等の店がない。 観光スポットがない。 児童館がない。 駐車場が少ない。	空き店舗を活用して働ける環境をつくる。 マーケットシティや道の駅の設置。 イベントの開催、SNS を活用し町のアピールを行う。ゆるキャラの検討。 移住してきた方に補助金。 浜の釣り場に駐車場の整備。

	提案者	地域課題	提案・アイデア
7	小熊委員	<p>▼少子高齢化と若者の減少。高齢者の親と独身の息子の同居が多い。</p> <p>▼介護保険を本人が拒否して使わない→家族への負担大→虐待につながるケースあり。</p>	<p>お見合いパーティ。</p> <p>空き家をリノベーションして安価で貸し出す。</p> <p>企業誘致(北区だけの問題ではないが)</p> <p>南浜船溜まりの販売をもっと大々的にやる。野菜やスイーツなどの店も参加できるようにする。</p> <p>地元食材のアピール。</p> <p>道の駅全国1号店をもっとアピールし、パーキングに降りてもらえるよう自治協議会でも考えていく。</p>
8	前田委員	<p>北区の防災対策の現状はどうなっているのかを可能な限り明確にし、問題があれば、自治協議会として是正策を提言する。</p> <p>関係当局(市・県・国)からの説明会や現地視察研修会等を実施し、これを基に区づくり事業計画を策定すること。</p>	<p>(1)防災対策研修・現地視察</p> <p>〈北区の洪水対策〉</p> <p>阿賀野川・福島潟・加治川等各河川の氾濫及び津波に対する市・県・国の防災対策の現状と課題について、北区民を対象に説明会を開催。現状の視察研修会の開催。</p> <p>〈洪水ハザードマップの説明会〉</p> <p>製作過程の説明と利用方法について、北区民を対象に開催。洪水時水位変動シミュレーションと垂直避難の有効性について地番ごとに説明。参加住民と意見交換に配慮すること。</p> <p>(2)避難所の施設整備体制・避難所運営体制の研修会等開催</p> <p>▼施設容量・収容人数・備蓄品の保管状況・保管施設の整備状況</p> <p>▼避難所運営体制が進まない現状と対策(自治協議会で事前に論点を精査すること)</p>